BIG-IP LTM+APM
PCoIP Proxy

BIG-IP Version 11.4.1

VM Horizon View 5.2

iApp Template:F5.vmware_view.v1.0.0rc4

2014/2/5

Networld

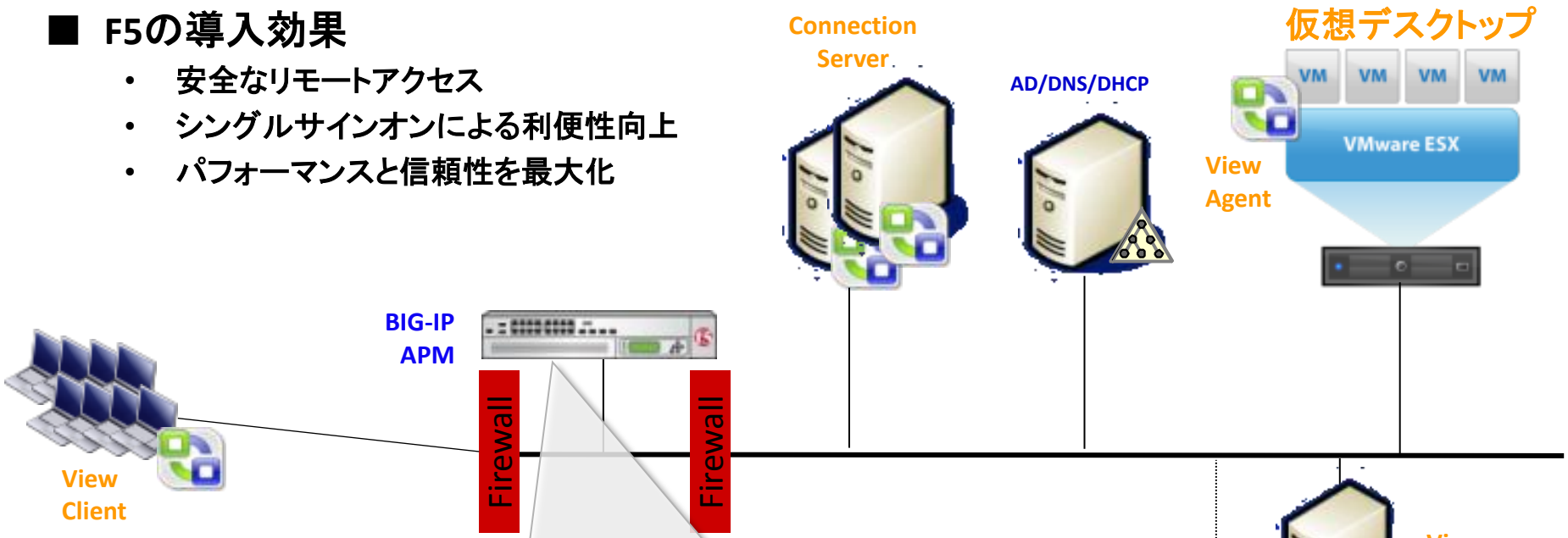
安全で便利なVDIの実現

■ 課題

- 社外ネットワークからのアクセスに制限
- 認証回数の増加によるユーザの手間
- 遅延によるサービスレベルの低下

■ F5の導入効果

- 安全なリモートアクセス
- シングルサインオンによる利便性向上
- パフォーマンスと信頼性を最大化



BIG-IP APM

- SSL-VPN機能（PCoIP/RDPに対応）
- 認証サーバとの連携によるSSO
- 他システムへのアクセスを制限
- DTLS（UDP)によるネットワーク遅延の緩和
- Connection Serverへのバランシング及び モニタリングによるダウンタイムを最小化

PCoIP Proxy

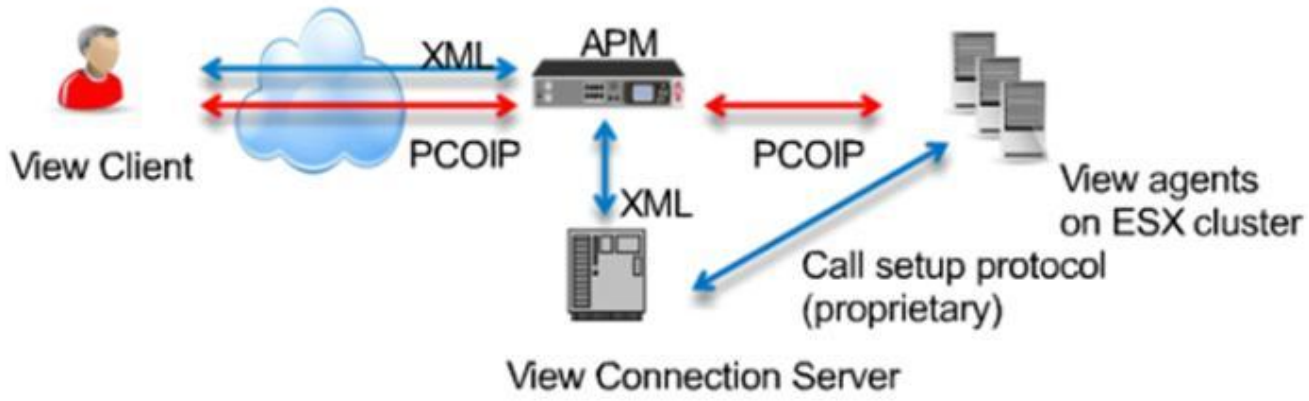
Industry first to offer full proxy support for PCoIP

PC-over-IP (PCoIP)　をフルプロキシするPCoIP Proxy機能を実装し、VMware Horizon View アーキテクチャをシンプルに構成しセキュリティとスケーラビリティの向上を実現

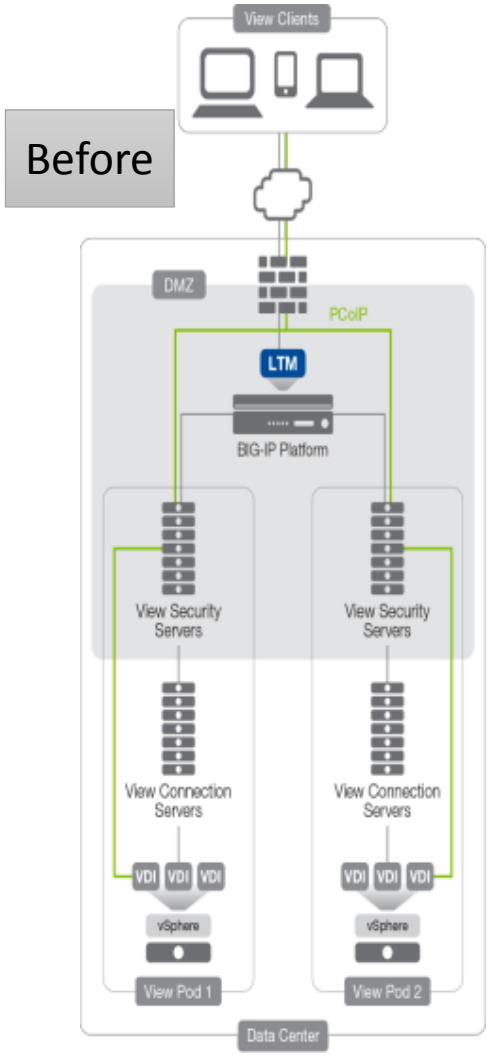
キーポイント

- PC-over-IPプロトコルをフルプロキシサポート
- VMware Horizon View アーキテクチャをシンプルに
- セキュリティ強化とスケーラビリティに貢献
- 業界で最初の機能実装
- 他のVDI接続もサポート

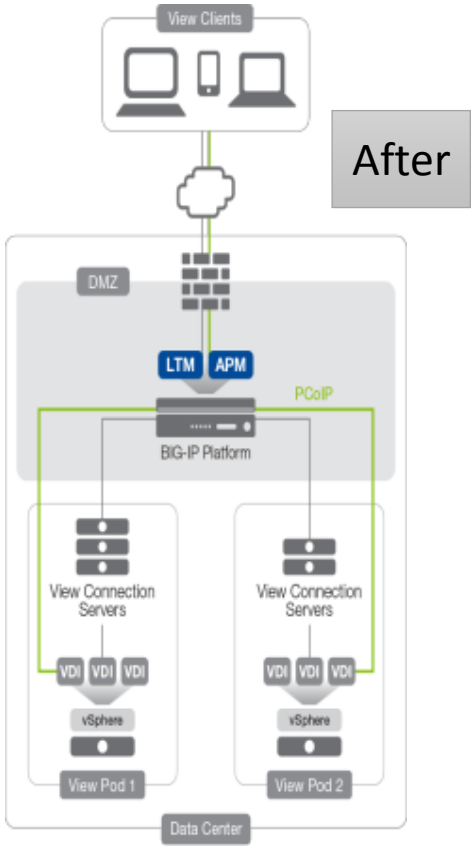
・注意事項
RDPプロトコル
USBリダイレクト
Blast
はPCoIPでは利用できない



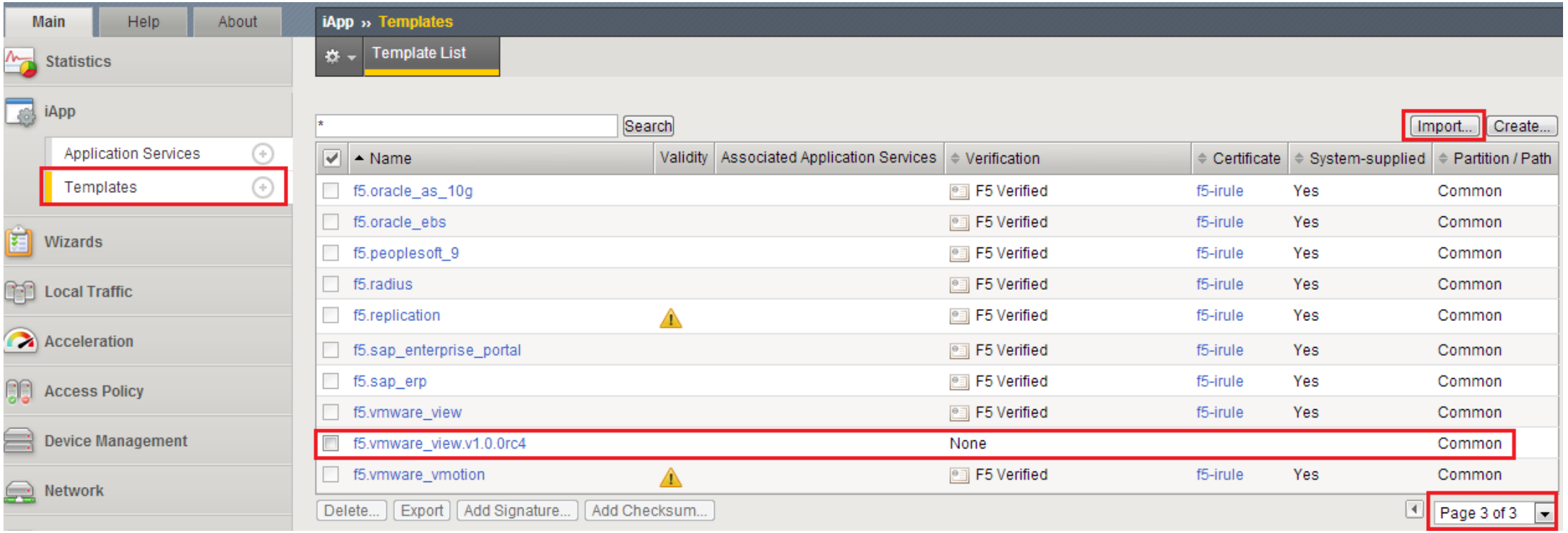
PCoIP Proxy – Simplify Your Architecture



- F5 Access Policy Manager (APM) でPCoIPプロキシを実現
- 1対1の設置が必要だったSecurityサーバとConnectionサーバのひも付きを分離
- ICSA Labs認定取得のハイパフォーマンスアクセスセキュリティ
- アプリケーション、ロケーションを問わないユニファイドグローバルアクセス



iApp テンプレートのインポート

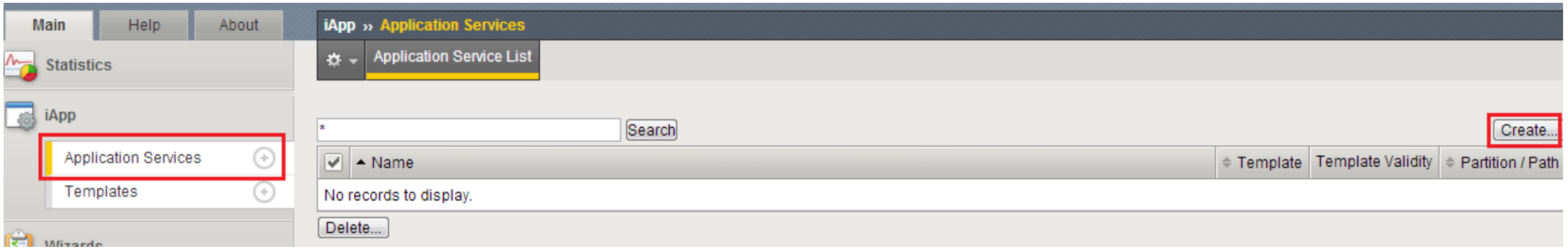


F5 DevCentalからiApp Template f5.vmware_view.v1.0.0rc4をダウンロードしインポート

https://devcentral.f5.com/

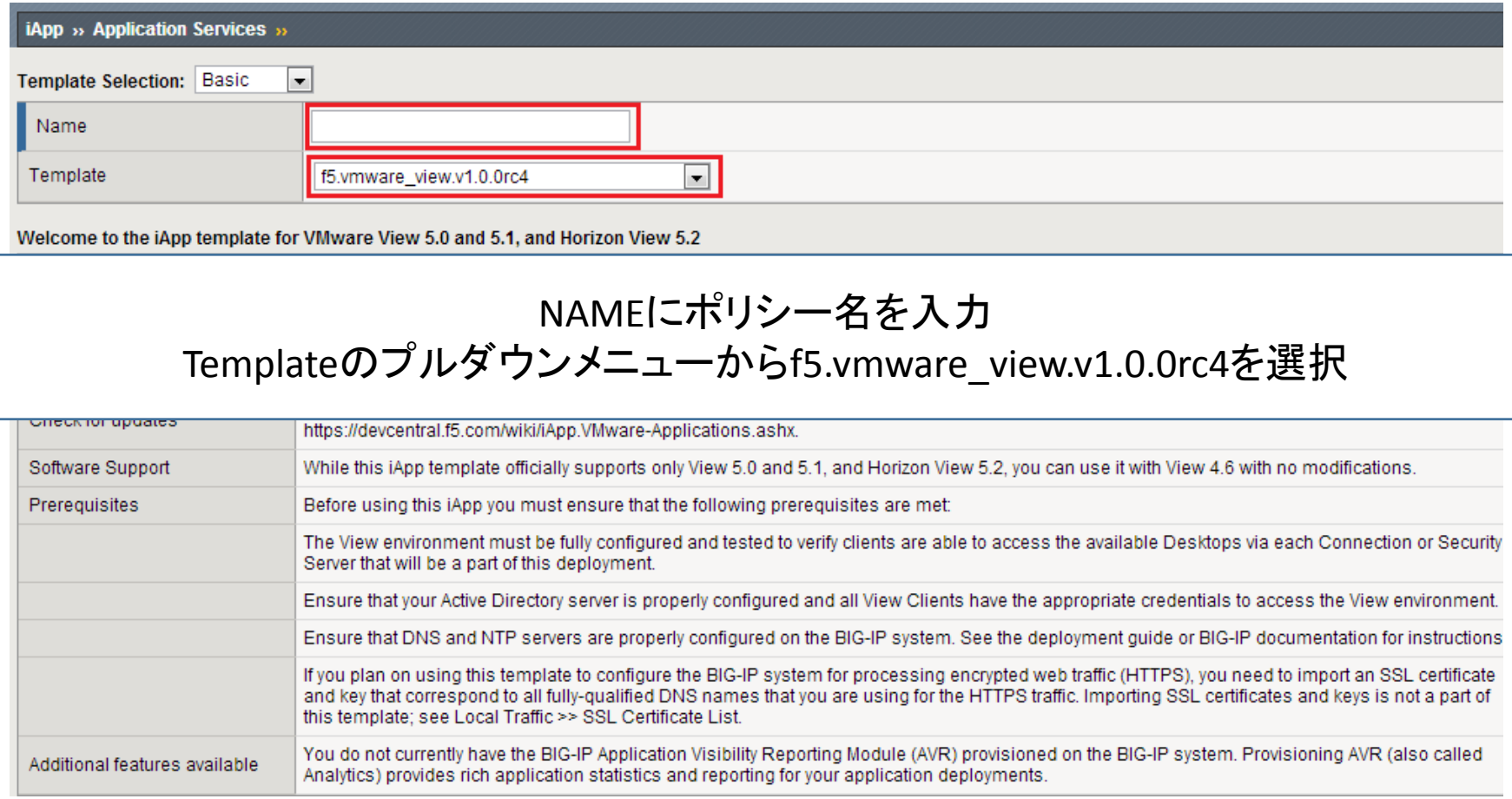
本iAppはLTMモジュールが必須

iApp テンプレートから設定



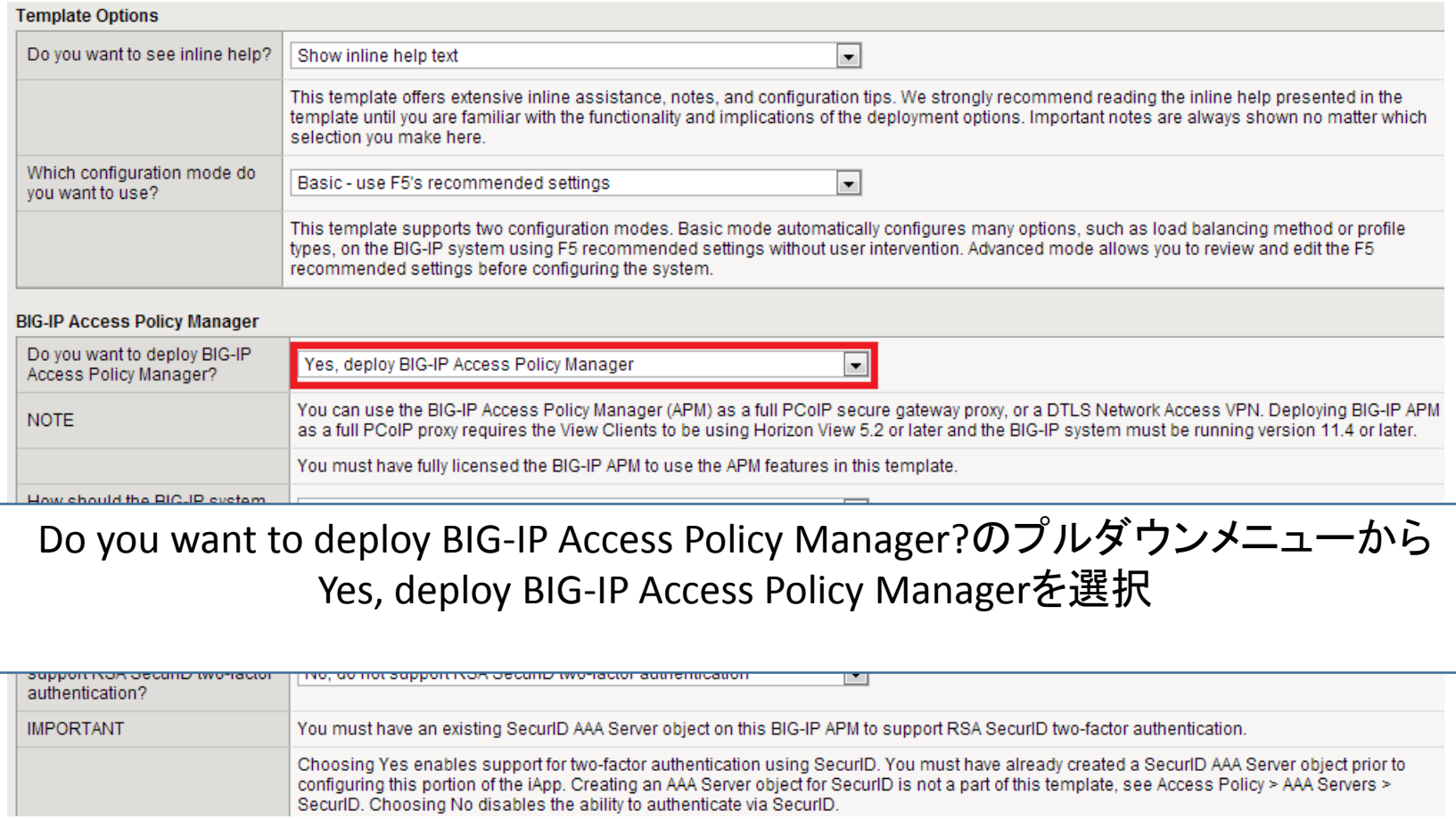
iApp Application ServicesからCreateをクリック

iApp テンプレートから設定



NAMEにポリシー名を入力
Templateのプルダウンメニューからf5.vmware_view.v1.0.0rc4を選択

iApp テンプレートから設定



Do you want to deploy BIG-IP Access Policy Manager?のプルダウンメニューから
Yes, deploy BIG-IP Access Policy Managerを選択

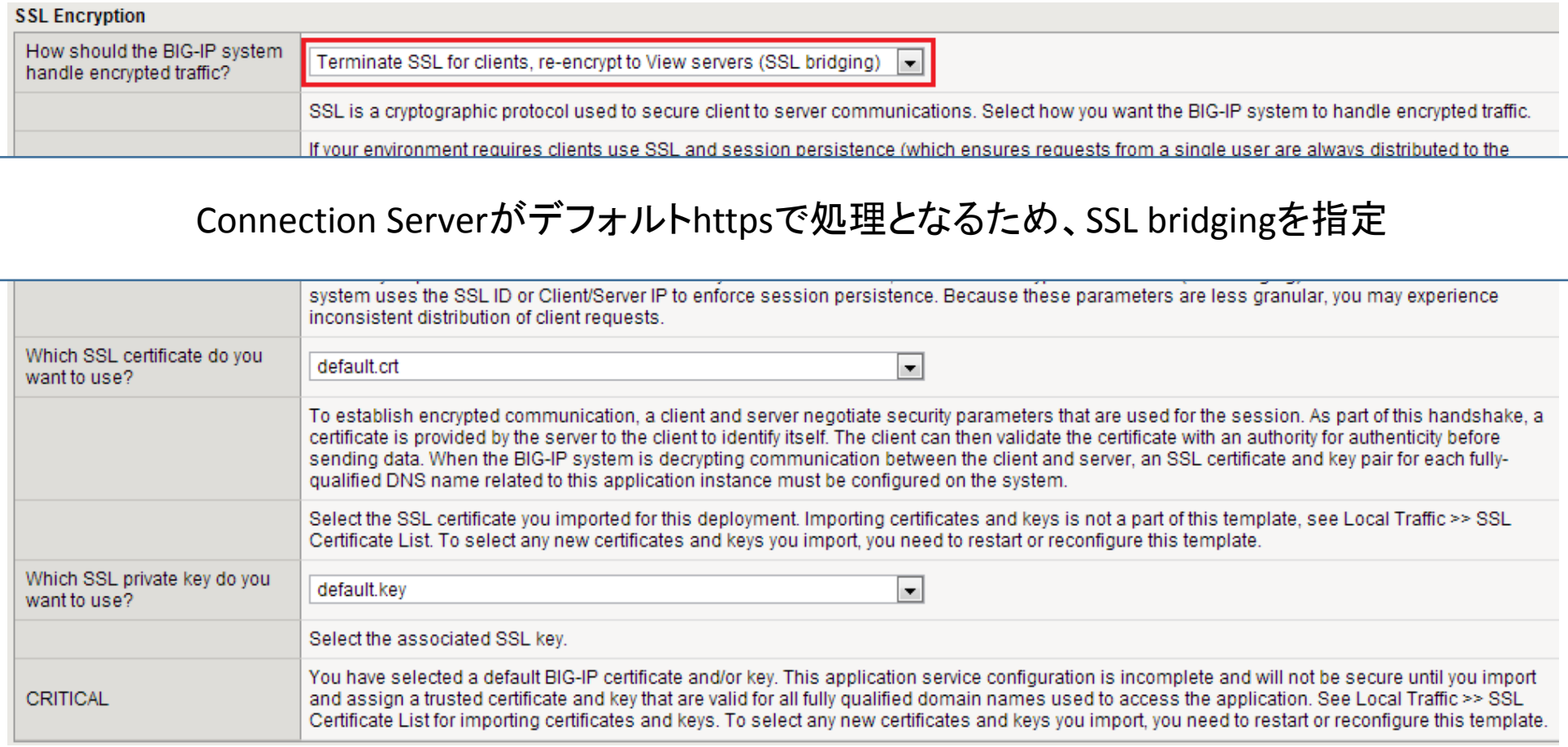
iApp テンプレートから設定

View Clientでアクセス時に指定したメッセージを表示可能。
ただし今回は設定しない

FirewallでGlobalIPアドレスとPrivateIPアドレスをNATされている場合GlobalIPアドレスを入力

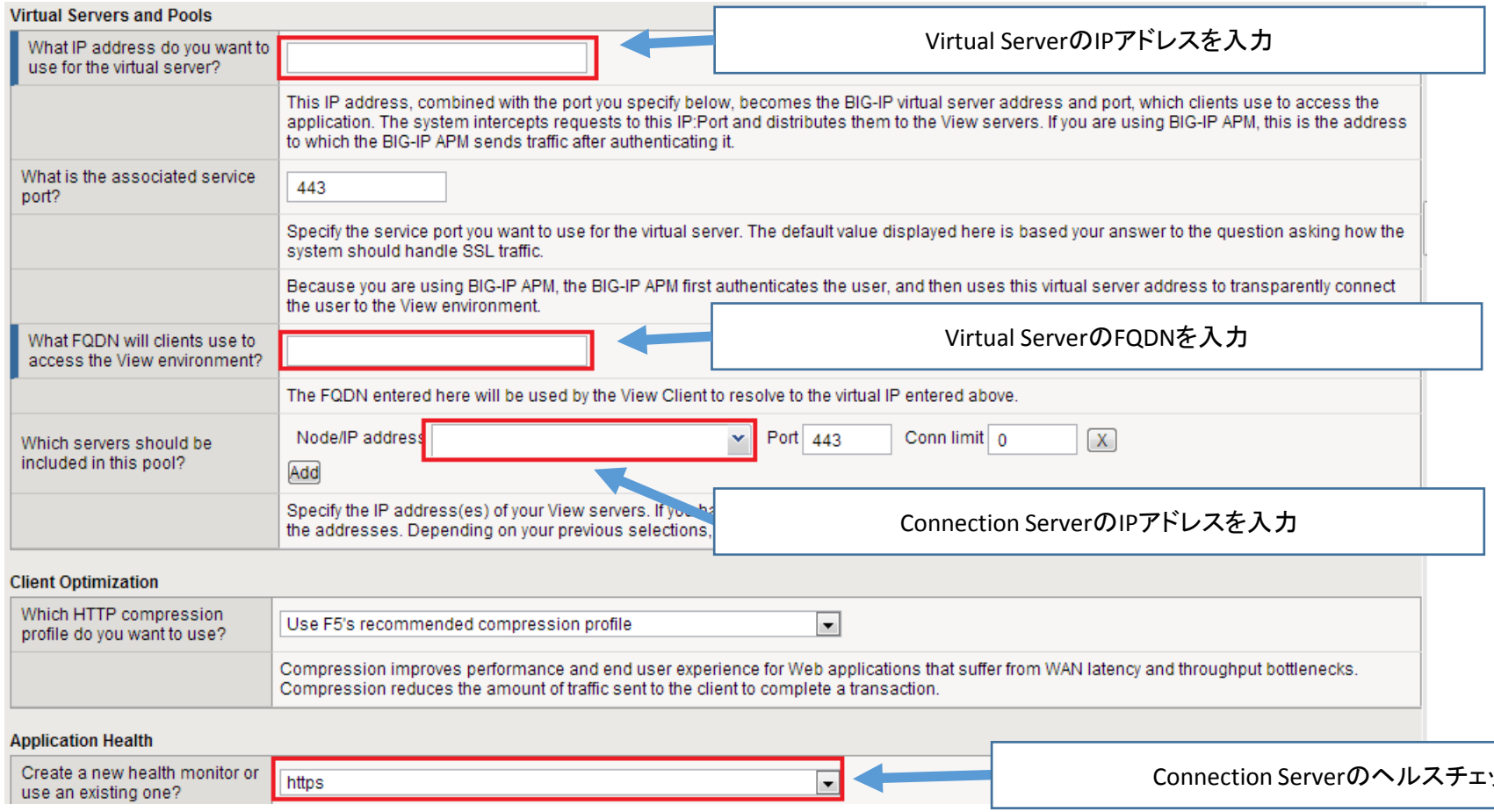
NetBIOSやActiveDirectory関連の設定を入力
既に登録されている場合はプルダウンメニューから指定可能

iApp テンプレートから設定

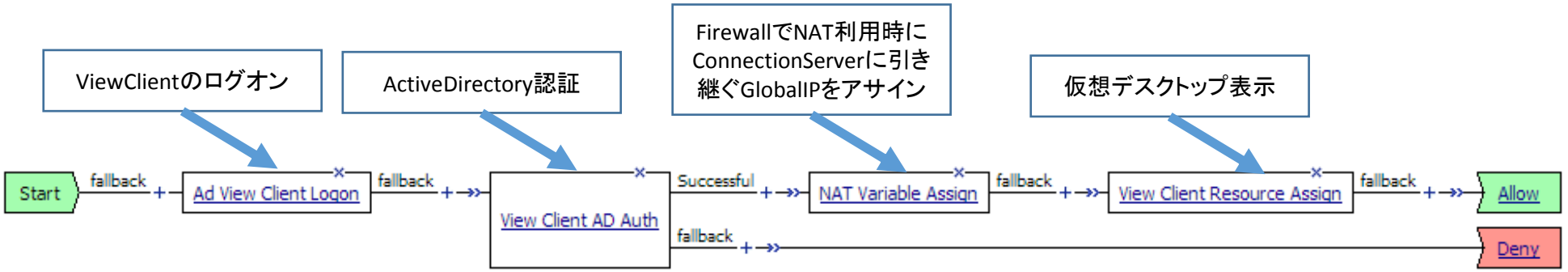


Connection Serverがデフォルトhttpsで処理となるため、SSL bridgingを指定

iApp テンプレートから設定



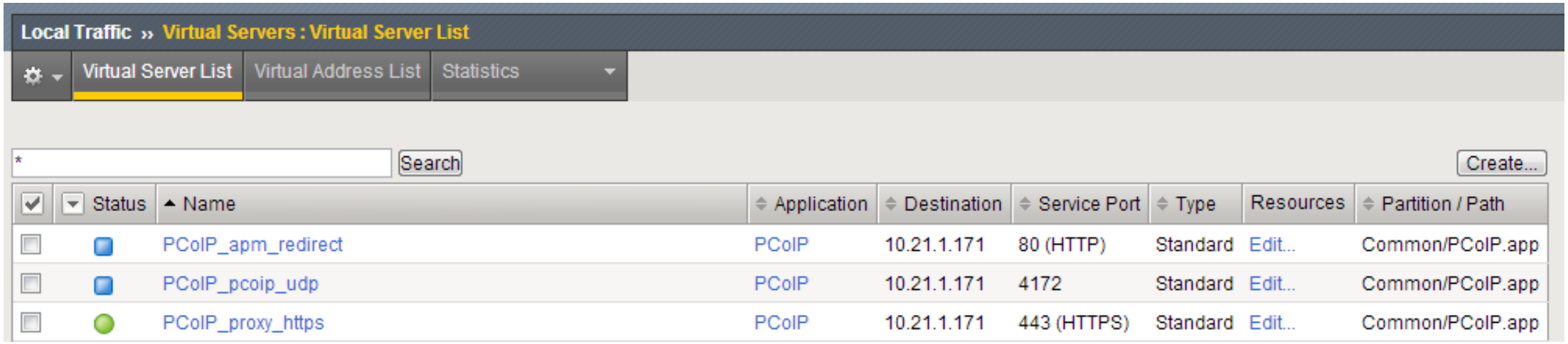
仮想デスクトップ表示までのシーケンス



Connection Server設定

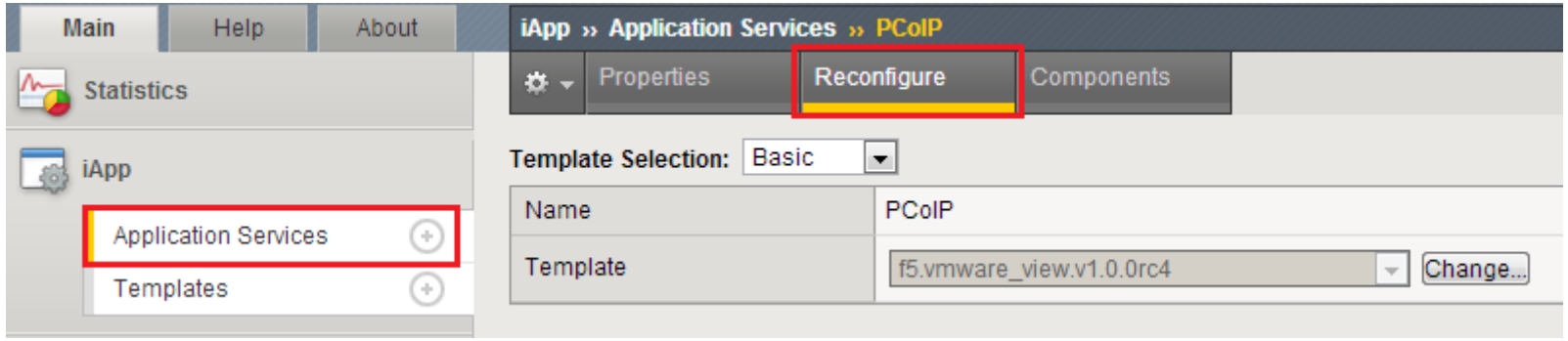
対象のConnection ServerのView接続サーバ設定を編集で
本項目のすべてのチェックボックスを外す

Virtual Server



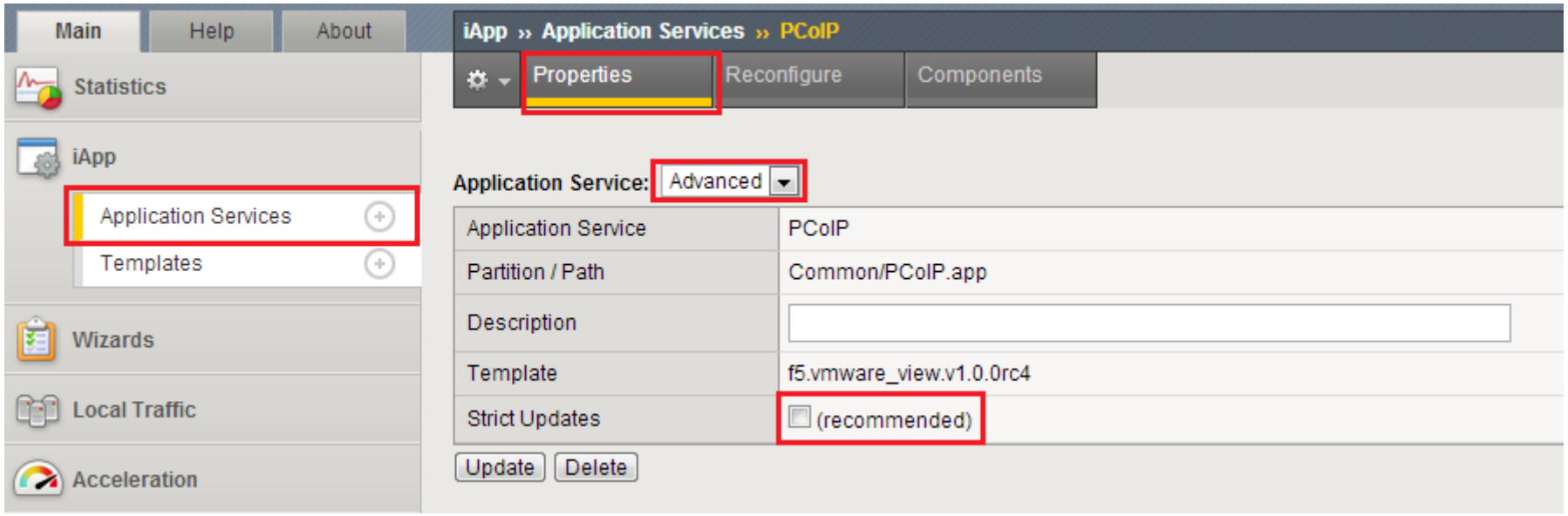
Connectionサーバアクセス用 on port 443
(アクセスポリシーやSSL処理のプロファイルを関連付けます)
PCOIPアクセス用 on port 4172
port 80はport 443リダイレクト用

Appendix1
(iAppテンプレート設定後の再設定)



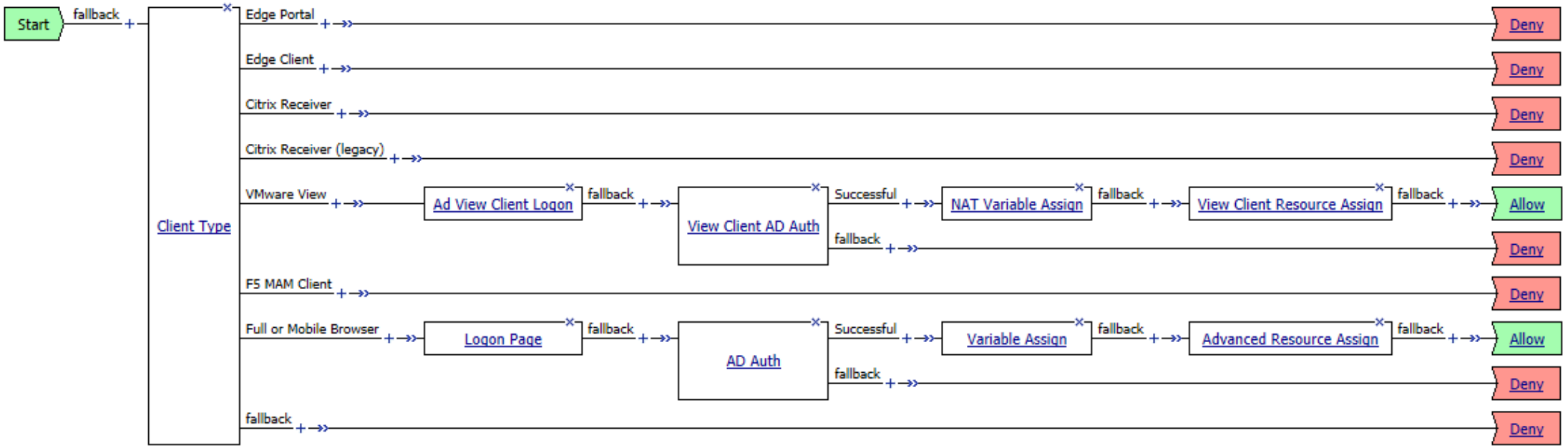
iAppにて設定した内容で再設定を行う場合はReconfigureから設定

Appendix2
(iAppテンプレート設定後のパラメータ調整)



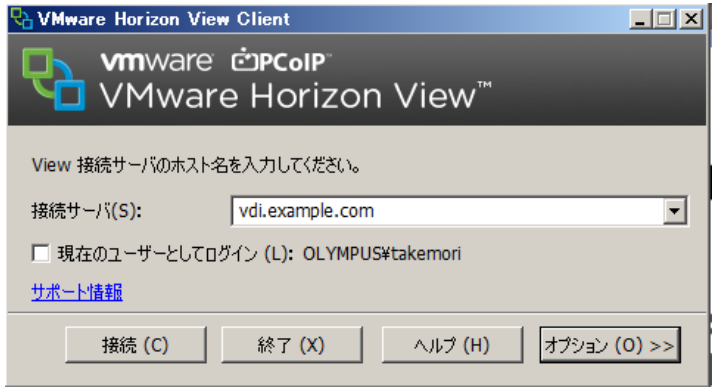
iAppを使用して設定した場合、デフォルトではパラメータ等はiAppからのみの変更となるが
Strict Updatesのチェックボックスを外すとパラメータを個別に変更可能
ただし、Reconfigureから設定を行うと上書きされる為、注意が必要。

Appendix3-1(ブラウザからのアクセス)



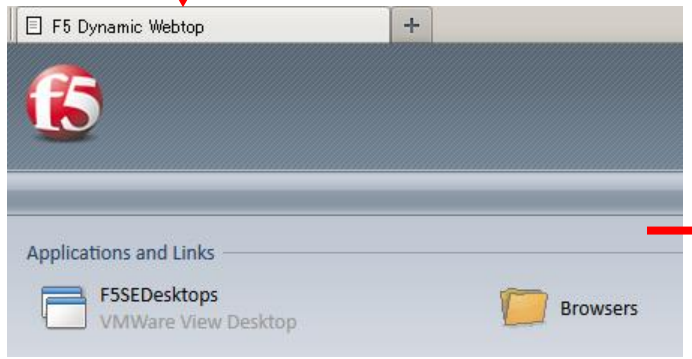
ViewClientからのアクセスとシーケンスを分けることでブラウザからアクセスさせることも可能
ブラウザからアクセスする場合はEdgeClient動作可能端末であればエンドポイントチェックが可能

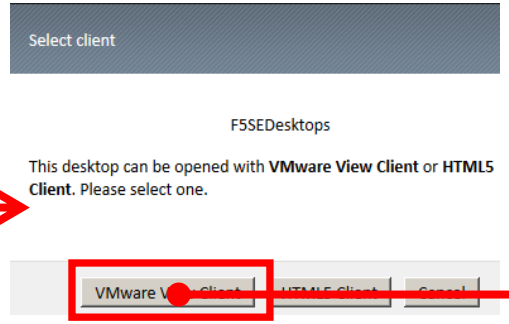
Appendix3−2(ブラウザからのアクセス)



Viewクライアントから
そのままアクセス

もしくは、ブラウザでログオン後、
Webtopのリンクをクリックして
Viewクライアント起動

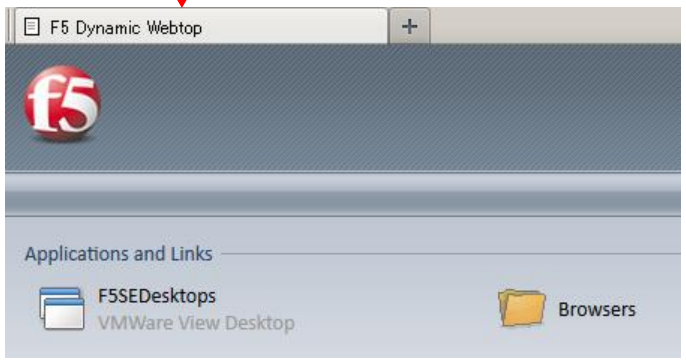


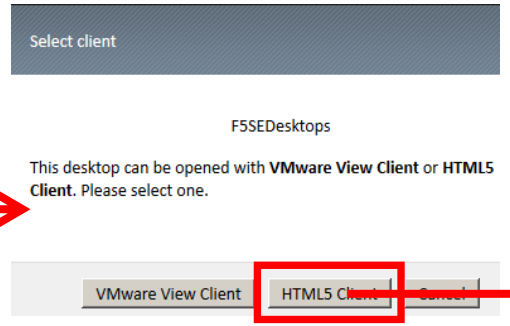


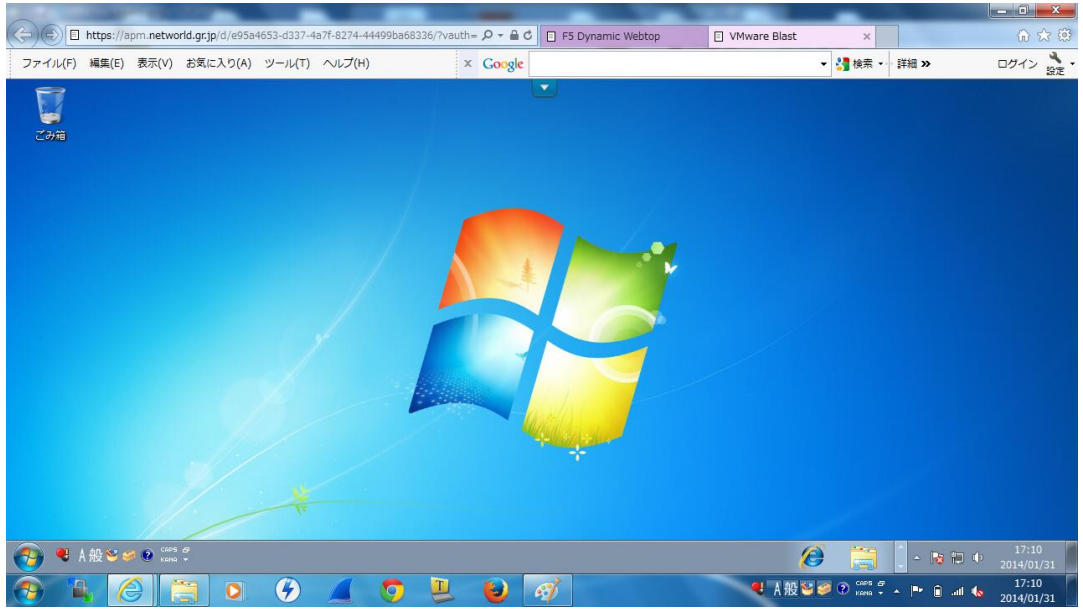
Appendix3-3(HTML5対応ブラウザからのアクセス)

1. 11.4.1HF2にてHorizon View デスクトップへのHTMLアクセスに対応(HTML5対応ブラウザのみ)
2. Horizon View Client、BIG-IP Edgeclientのインストール不要でデスクトップにアクセス可能
3. PCoIP Proxyでは無い為、SSL処理をBIG-IP/View Connection Serverにて実施する必要あり、
   BIG-IPではバックエンドSSLも必要
4. TCPベースの通信となり暗号化もPCoIPでは無い為、速度はPCoIPの方が高いと思われる

HTML5対応ブラウザでログオン後、
Webtopのリンクをクリック







BIG-IP Version 11.4.1HF2
VM Horizon View 5.3
iApp Template:F5.vmware_view.v1.0.0rc7
にて確認
設定はAppendix3-1と同じ

Appendix4(同時接続ユーザライセンス)

PCoIP proxyの場合、App tunnelでは無く、
Remote Desktopという部類に分けられます。
Remote DesktopではCCU(同時接続ユーザ)ライセンスは不要となります。
※11.4～

- 11.4でCCUが必要な項目は、

1. Full Network Access(SSL-VPN)
2. App Tunnel
3. Portal Access(Reverse proxy)
   - Web-based app link (OWA,SharePoint,XenApp等)
   - Citrix portal mode

の3つとなります。

Networld

Appendix5(最大同時セッション数)

CCU(同時ユーザ)ライセンスは不要だが、筐体により
最大同時セッション数が異なるため考慮する必要がある

ハードモデルでの目安
500セッションまで：BIG-IP 2000
5000セッションまで：BIG-IP 2200

VE版の目安
200セッションまで：200Mbps
1000セッションまで：1Gbps
1000セッション以上： 3 or 5Gbps
最大2500セッション

※他モジュールと組み合わせる場合は性能劣化に注意

Networld